

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版, CASBEE埼玉2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)カスミ原馬室店	階数	地上1階
建設地	埼玉県鴻巣市原馬室	構造	S造
用途地域	第一種住居地域	平均居住人員	500 人
地域区分	5地域	年間使用時間	5,400 時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年2月 予定	評価の実施日	2018年7月2日
敷地面積	6,708 m ²	作成者	山田 充
建築面積	2,780 m ²	確認日	2018年7月2日
延床面積	2,636 m ²	確認者	山田 充



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

3 設計上の配慮事項		
総合 照明器具は内部、外部共、積極的にLEDを採用し、建物の省エネルギー化を図っている。		その他 0
Q1 室内環境 緑化届出基準に準拠し、壁面緑化を採用している。また、照明器具は内部、外部共、積極的にLEDを採用し、建物の省エネルギー化を図っている。	Q2 サービス性能 売場天井高は3.75mとし、快適性を得るよう配慮している。内装材は耐用年数の長い材料を採用し、建物の長寿命化を図っている。	Q3 室外環境(敷地内) 景観条例に準拠している。周辺は低層の戸建て住宅が多いため、計画建物は高さが突出しないよう平屋建てとし、まちなみに調和するよう配慮している。また、外壁の色も茶色をベースとし、落ち着いた外観としている。
LR1 エネルギー 高効率設備機器を導入し、建物の省エネルギー化を図っている。	LR2 資源・マテリアル 節水型便器を使用し、節水を図っている。内装はLGS+ボード+仕上とし、躯体と仕上材が容易に分別できるよう配慮している。	LR3 敷地外環境 外部照明は全てLEDとしている。駐車場照明は外部へ照射しない等、敷地外環境に配慮している。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版、CAS
(仮称)カスミ原馬室店

使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版、C
評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
0 建築物の環境品質									2.9
Q1 室内環境					0.40		-		3.1
1 音環境				2.6	0.15		-		2.6
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40		3.0		
1.2 遮音				3.0	0.40		-		
1 開口部遮音性能				3.0	1.00		3.0		
2 界壁遮音性能				3.0	-		3.0		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	-		3.0		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-		3.0		
1.3 吸音				1.0	0.20		3.0		
2 温熱環境				2.6	0.35		-		2.6
2.1 室温制御				3.0	0.50		-		
1 室温				3.0	0.50		3.0		
2 外皮性能				3.0	0.17		3.0		
3 ゾーン別制御性				3.0	0.33		-		
2.2 湿度制御				1.0	0.20		3.0		
2.3 空調方式				3.0	0.30		3.0		
3 光・視環境				3.0	0.25		-		3.0
3.1 昼光利用				3.0	0.50		-		
1 昼光率				3.0	-		3.0		
2 方位別開口				3.0	-		3.0		
3 昼光利用設備				3.0	1.00		3.0		
3.2 グレア対策				3.0	-		-		
1 昼光制御				3.0	-		3.0		
3.3 照度				3.0	-		3.0		
3.4 照明制御				3.0	0.50		3.0		
4 空気質環境				4.3	0.25		-		4.3
4.1 発生源対策				4.0	0.50		-		
1 化学汚染物質		F を全面的に使用		4.0	1.00		3.0		
4.2 換気				5.0	0.30		-		
1 換気量		1.4倍以上の換気量		5.0	0.50		3.0		
2 自然換気性能				3.0	-		3.0		
3 取り入れ外気への配慮		給気・排気が別方向かつ、6m以上の離隔		5.0	0.50		3.0		
4.3 運用管理				4.0	0.20		-		
1 CO ₂ の監視				3.0	0.50		-		
2 喫煙の制御		消防法より全館禁煙		5.0	0.50		-		
Q2 サービス性能					0.30		-		3.3
1 機能性				3.5	0.40		-		3.5
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40		-		
1 広さ・収納性				3.0	-		3.0		
2 高度情報通信設備対応				3.0	-		3.0		
3 バリアフリー計画				3.0	1.00		-		
1.2 心理性・快適性				4.3	0.30		-		
1 広さ感・景観		天井高:3.750m		5.0	0.33		3.0		
2 リフレッシュスペース		リフレッシュスペース(イートイン部分) 4.3%		5.0	0.33		-		
3 内装計画				3.0	0.33		-		
1.3 維持管理				3.5	0.30		-		
1 維持管理に配慮した設計		床:セラミックタイル等、外壁:ガルバリウム鋼板又はALC吹付けタイル塗装		4.0	0.50		-		
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50		-		
2 耐用性・信頼性				3.0	0.30		-		3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50		-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80		-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20		-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.4	0.30		-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20		-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.20		-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		壁、天井:石膏ボード、床:セラミックタイル、塩ビタイル		5.0	0.10		-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10		-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水、排水:硬質塩ビ管(B)、給湯:耐熱性塩ビ管(B)		4.0	0.20		-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20		-		
2.4 信頼性				2.6	0.20		-		
1 空調・換気設備				3.0	0.20		-		
2 給排水・衛生設備				2.0	0.20		-		
3 電気設備				3.0	0.20		-		
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20		-		
5 通信・情報設備				2.0	0.20		-		

3 対応性・更新性			3.4	0.30	-	-	3.4
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	水下梁天端高:4.7m	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率 = 0.11	4.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.4
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.7
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.4
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m = 0.7	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEI _m] = 0.66	5.0	0.50	-	-	5.0
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.8
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		自動水栓及び、全ての大便器で節水型を使用している	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.6	0.60	-	-	2.6
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.11	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.22	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.22	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		LGS+ホード+仕上	4.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.6
1 地球温暖化への配慮		LCCO2排出率:69%	4.2	0.33	-	-	4.2
2 地域環境への配慮			3.5	0.33	-	-	3.5
2.1 大気汚染防止		オール電化	5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	十分な駐輪、駐車スペースを設けている。客用と荷捌車両を分離して	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.33	-	-	
2	振動		3.0	0.33	-	-	
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	LED照明,タイマー及びセンサーによる点灯制御	4.0	0.70	-	-	
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

CASBEE埼玉県

重点項目シート

使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	(仮称)カスミ原馬室店	BEE	1.5	BEEランク
------	-------------	-----	-----	--------

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO ₂ の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
4.2	+	2.3	=	6.5
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上	すばらしい 8.0以上	
				

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO₂の削減		スコア平均	4.2
< CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア >			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	4.2
< 配慮した内容を記述 > 高効率設備機器の導入			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	2.3
< CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア >			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3.2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2.2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
< 配慮した内容を記述 > 壁面緑化の採用			

: 入力欄